

基礎ソフトウェア・システム 自然言語処理ソフトウェア

I C O T

第 2 研 究 室

内 田 俊 一

吉 岡 勉

研究開発内容

1. 談話理解実験システム (DUALS)
2. 汎用日本語処理系 (LTB)
3. 要素技術実験パイロットシステム

談話理解実験システムの研究開発

DUALS: Discourse Understanding
Aimed at Logic-based Systems

研究の経緯

1. DUALS-1 (59, 60年度)

規模: 18文, 200単語, 基本言語: Prolog

2. DUALS-2 (60, 61年度)

規模: 18文, 200単語, 基本言語: CIL

並列構文解析手法(SAX)の導入と

意味記述言語CILによるシステムの記述

DUALS-3 (62, 63年度)

規模: 100文, 2000単語, 基本言語: CIL

文脈処理や深い意味理解の研究への着手

構文, 意味の解析/生成処理の確立

➡ 汎用日本語処理系として共通ツール化

辞書/言語知識ベースの構成手法の確立と

データ整備

概念辞書, シソーラスなどの研究と試作

汎用日本語処理系(LTB:Language Tool Box)

文脈処理，意味処理の研究の共通ツールとなる
ソフトウェア群をライブラリ化する。

要素技術実験パイロットシステムにも用いる。

研究試作により方式が確立しソフトウェア・モジュールとして実用に耐えるものを順次含めていく。

汎用日本語処理系の内容(62, 63年度の目標)

基本データ:日本語辞書(4000語), シソーラス
日本語文法(600規則)

基本意味記述言語(CIL)とそのプログラミング
環境

形態素/構文解析系:LAX, SAX

生成系 および KWIC

これらを統合する統合利用環境(LTB-Shell)

要素技術実験パイロットシステム

談話モデル，意味処理，意味記述，解析／生成などの要素技術をいろいろな用途を想定した実験システムを試作して研究開発する。

意味談話理解のための知識表現実験システム

知的情報検索実験システム

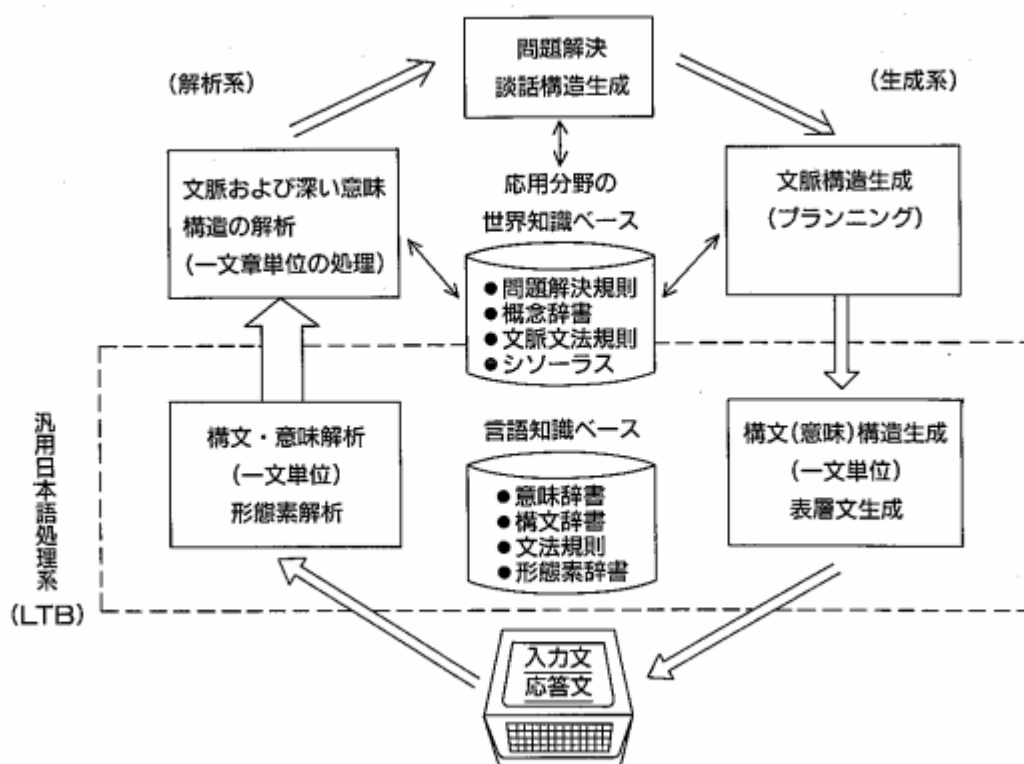
状況意味論に基づく対話モデル実験システム

文脈理解に基づく対話管理実験システム

意味構造を用いた入力解析・修正支援システム

世界知識に基づく要約支援システム

談話理解実験システムと汎用日本語処理系



汎用日本語処理系(LTB)の構成

